

春

ご挨拶

新年明けましておめでとうござ
います。

市民の皆様には、健やかに新春
をお迎えのことと、心よりお慶び
申し上げます。

昨年は「平成」から「令和」へ
と改元が行なわれ、新時代の幕開
けの年となりました。

振り返りますと、市政におきま
しては懸案事項である市立芦別病
院の経営問題やJ R根室線の維
持・存続問題への対応をはじめ、
国道452号、道道芦別美瑛線の
整備促進など、諸課題の解決、前
進に向け取り組んだ一年でありま
した。

分けても、本年4月に開校が予
定されている北海道立北の森づく
り専門学院（略称北森カレッジ）
については、本市は地域実践実習
拠点として位置付けられ、これま
で北海道と林業関係者が中心とな
り、インターンシップや地域実践
実習などの地元受け入れに向けた
調整を進めてきておりますので、
開校後は林業担い手の確保や地域

の活性化につながるよう期待して
おります。

また、空知の石炭、室蘭の鉄鋼、
小樽の港湾を繋ぐ北の産業革命の
ストーリー「炭鉄港」については、
昨年5月に本市の旧三井鉄道炭山
川橋梁、星槎大学（旧頼城小学校）
などを構成資産として文化庁の日
本遺産に認定されたほか、8月に
はプロ野球イースタンリーグ公式
戦が8年ぶりに本市で開催される
などの明るい話題もありました。

加えて、昨年は令和2年度から
10年間のまちづくりの羅針盤とな
る第6次総合計画、並びに5か年
の戦略である、人口減少の抑制と
地域活性化を主眼とした、第2期
まち・ひと・しごと創生総合戦略
の策定に向け、鋭意取り組んでま
いりました。総合計画につきまし
ては、関係団体や公募委員の皆様
による総合計画審議会、並びに市
議会の皆様による議論を踏まえ、
このたび計画策定の運びとなりま
したが、今後も少子高齢化、人口
減少が見込まれる中であつて、「み
んなで築く豊かで住みよい 人と
文化の輝くまち」を目指すまちの
都市像に掲げ、市民の皆さんとの
協働により、だれもが住み続けて
いきたいと思えるまちづくりを進
めてまいります。

さて、迎えました今年、東京
オリンピック・パラリンピックが

開催され、我が国が世界中から注
目される年となります。

私の市長任期が最終年度を迎
え、第6次総合計画がスタートし
たしますが、引き続き懸案事項へ
の対応をはじめ、市の財政基盤の
確立が喫緊の課題となつておりま
すことから、財政基盤強化集中改
革プランに基づく取組の着実な実
行などにより、市民福祉の増進と
財政の健全化、地域活力の創生を
目指し、「縮充」の視点を持ち合
わせながらも、官民が一体となつ
て一歩一歩前進が図られるよう力
を尽くしてまいります。

結びに、今年一年が皆様にとり
まして、ご健康で希望にあふれる
年となりますよう、心からご祈念
申し上げます、年頭のご挨拶といたし
ます。



芦別市長 荻原 貢

教育委員会

教育長 福島 修史

市立芦別病院

院長 細川 寿和

監査委員

岩花 永喜

大鎌 光純

農業委員会

会長 脇島 真一

公平委員会

委員長 荒木 英理

固定資産評価審査委員会

委員長 大西 俊夫

芦別市消防団

団長 高砂 裕司



迎

年頭の

新年明けましておめでとうござ
います。

市民の皆様におかれましては、
お健やかに新年をお迎えのこと
と、心よりお慶び申し上げます。

昨年4月の統一地方選挙によ
り、12名の議員が市民の皆様から
負託を受けました。

また、私が平成25年以来、再び
議長に就任して、早くも8か月が
経過し、その責任の重さを改めて
痛感するとともに、市政発展のた
めにより一層、努力してまいりた
いとの思いを新たにしているとこ
ろでございます。

昨年を振り返りますと、国内に
おいては、9月から10月にかけて
関東地方や甲信地方、東北地方に
上陸した台風15号及び台風19号が
各地に甚大な被害をもたらしまし
た。私は、改めて自然災害の脅威
を思い知らされるとともに、いつ

どこで発生するかわからない災害
への日頃からの備えの大切さを強
く認識したところであります。

市政におきましては、「芦別市ま
ち・ひと・しごと創生総合戦略」
の重点施策の一つである道立北の
森づくり専門学院の実習拠点とし
て、旧常磐小学校が活用されるに
至ったことや、国道452号、道
道美唄富良野線及び道道芦別美瑛
線の整備促進に向けた中央要望や
北海道要望によって、地域課題の
解決に向けて、一定の成果を収め
ることができたものと考えており
ます。

明けた本年は、芦別市の新たな
まちづくりを目指すための「第6
次芦別市総合計画」や第2期の「芦
別市まち・ひと・しごと創生総合
戦略」がスタートする年であり、
さらには市立芦別病院の経営問
題、新庁舎整備検討問題、市が進
める行財政改革に対する議会の対
応等々、山積する重要課題の解決
に向けて、私ども市議会の果たす
役割はこれまで以上に重要となっ
てまいります。

本市においては、少子高齢化や
人口減少が続く中、地方分権、地

域主権も進展しています。

私ども市議会は、二元代表制の
一翼を担う議会としての責任を再
認識し、より実効性が高く、もっ
と市民の皆様によく見える議会、
もっと市民の皆様にかかり易い議
会を目指して、これからもさらな
る議会改革の推進に全力で取り組
んでまいれる所存でありますので、
市民の皆様への変わらぬ
ご支援とご協力をお願いいたしま
す。

結びに、今年一年が、皆様にと
りまして、ご健勝ですばらしい年
になりますよう心からご祈念申し
上げまして、新年のごあいさつと
いたします。



芦別市議会議長 田森 良隆

芦別市議会

副議長

小川 政憲

議員

林 伸樹

樋坂 直紀

新村 充

松尾 達矢

大橋 二郎

石川 洋一

北村 真

大鎌 光純

松井 邦男

若松 市政

